

授業科目	障害者スポーツ入門				
担当者	島 雅人 (実務経験者)・相原一貴 (実務経験者)・足立一 (実務経験者)・山田隆人 (実務経験者)				(オムニバス)
実務経験者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・島 雅人：日本パラリンピック委員会 スポーツ医・科学・情報サポート事業 バイオメカニクス担当 (公財) 日本障がい者スポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員 (2015～) スペシャルオリンピックス日本 認定コーチ (MATP 2010～、ユニファイドサッカー 2016～)、スポーツコーチ (2017～)、ローカルトレーナー (2018～) ・相原一貴：理学療法士として病院やデイサービス等で実務経験あり。 ・足立 一：(公財) スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドサッカー 認定コーチ (2016～) ・山田隆人：(公財) スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドサッカー 認定コーチ (2016～) 				
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	自由選択

■ 内 容

障がい者福祉施策と障がい者スポーツについて、講義と実技実習を交えて学ぶ。障がい者スポーツの意義と理念を理解し、身体障害、知的障害、精神障害とスポーツについて理解を深めるとともに、日本国内における障がい者スポーツの現状と指導者育成制度について学ぶ。また、障がいに応じたスポーツの工夫や、障がい者との交流をはかり、障がい者スポーツ指導者としての導入を図る。本講義を履修することで、地域の障がい者で初めてスポーツを行う方に対して、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援できるような知識と技術を身につける。島 雅人 (実務経験者)、相原一貴 (実務経験者)、足立一 (実務経験者)、山田隆人 (実務経験者)

■ 到達目標

1. 障がい者福祉施策と障がい者スポーツについて概説できる。
2. 障がい者スポーツの意義と理念を理解できる。
3. 身体障害、知的障害、精神障害とスポーツについて理解できる。
4. 日本国内における障がい者スポーツの現状と指導者育成制度について説明できる。
5. 障がい者との交流をはかり、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援できる。

■ 授業計画

- 第1回 障がい者福祉施策と障がい者スポーツ 1 (0.5)、障がい者スポーツの意義と理念 1 (1.0)：島 (実務経験者)
- 第2回 障がい者スポーツの意義と理念 (1.0)、文化としてのスポーツ (0.5)：島 (実務経験者)
- 第3回 全国障害者スポーツ大会の歴史と目的と意義 (1.5)：足立 (実務経験者)
- 第4回 全国障害者スポーツ大会の歴史と目的と意義 (0.5)：足立 (実務経験者)
(公財) 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度 (1.0)：足立 (実務経験者)
- 第5回 全国障害者スポーツ大会の実施競技 (1.0) 安全管理 1 (0.5)：山田 (実務経験者)
- 第6回 安全管理 2 (0.5) ボランティア論 1 (1.0)：山田 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第7回 ボランティア論 2 (1.0)、スポーツと栄養 (0.5)：相原 (実務経験者)
- 第8回 スポーツと心理 (1.5)：足立 (実務経験者)
- 第9回 障がいの理解とスポーツ (身体、知的、精神、視覚など) (1.5)：山田 (実務経験者)
- 第10回 障がい者のスポーツ指導における留意点 1 (1.5)：山田 (実務経験者)
- 第11回 全国障害者スポーツ大会の概要 (1.0) 島 (実務経験者)
全国障害者スポーツ大会選手団の編成とコーチの役割 (0.5) 島 (実務経験者)
- 第12回 障がいに応じたスポーツの工夫・実施 (実技) (1.5)：島 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第13回 障がいに応じたスポーツの工夫・実施 (実技) (1.5)：島 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第14回 障がい者との交流 (実技) 学外 (1.5)：島・相原・足立 (実務経験者)・山田 (実務経験者)
- 第15回 障がい者との交流 (実技) 学外 (1.5)：島・相原・足立 (実務経験者)・山田 (実務経験者)

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）】50% 、 課題レポート50%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各回の講義前までに、教科書の該当箇所を読んでおくこと。
日頃から障がい者スポーツに関する情報を意識して得るようにしてください。テレビやインターネットで多くの情報を得ることができます。また、地域や大学が主催するイベントに参加して、できる限り障がい者スポーツに関わる機会を多く設定してください。実体験を通じて障がい者スポーツの魅力を感じ、自分自身が出来ることについて考え行動することを望みます。

■ 教科書

書 名：障害者スポーツ指導教本 初級・中級<改訂版>
著者名：(公財)日本障がい者スポーツ協会 編
出版社：ぎょうせい

■ 参考図書

書 名：よくわかる障がい者スポーツ
著者名：藤田紀昭
出版社：PHP

書 名：みんなちがってそれでいい
著者名：宮崎 恵理 重本 沙絵
出版社：ポプラ社

書 名：スポーツでひろげる国際理解 5 知ろう・やってみよう障がい者スポーツ
著者名：中西 哲生
出版社：文溪堂

書 名：パラリンピックとある医師の挑戦
著者名：三枝義浩（著）
出版社：講談社

■ 留意事項

本科目は、中級障がい者スポーツ指導員資格を取得するために必修となる科目である。
欠席した場合は資格取得が出来なくなるため、出席に関しては十分注意すること。

■ 講義受講にあたって

実技の内容を含む講義日は学校指定のジャージを着用すること。